

## 保護者様向け 放課後等デイサービス評価表

児童数 15名 配布数 14世帯 回収数 9部 回収率 57%

smile+ WAKABA

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	7	1		1		・いつも配慮ありがとうございます
	②	職員の配置や専門性は適切であるか	8			1		
	③	事業所の設備はスロープや手すりに設置などのバリアフリー化の配慮が適切にされているか	5			4		・玄関が段差になっておりますので必要に応じて職員が補助をいたします。室内は段差がなくバリアフリーになっております。
適切な 支援	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9					
	⑤	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9				・いつも楽しいプログラムが組み込まれていて楽しいようです。	
	⑥	放課後等児童クラブや児童館との交流や地域の子どもと活動する機会はあるか	7	1		1	・同じ施設内の児童クラブと交流させてもらっているようです。	・併設されている児童クラブと交流や行事を行っております。
保護者 への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担について丁寧な説明がされたか	9					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9					
	⑨	保護者に対して面談や育児に対する助言などの支援が行われているか	9					
	⑩	保護者会等の開催などにより保護者同士の連携が指示されているか	6	2	1			・今後も保護者学習会を通じて連携がとれるように開催をしていきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			2		・頂いたご意見を迅速に職員全体で共有、検討させていただいております。またその結果を速やかに保護者様に説明しております。
	⑫	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のために配慮がなされているのか	8			1		・ご不明点がありましたらご遠慮なくお声がけください。
	⑬	定期的に会報やホームページなどで活動概要や行事予定、連絡体制などの情報や、業務に関する自己評価の結果を発信しているか	8			1		・公式ライン等でお知らせしております。
	⑭	個人情報に十分に注意しているか	9					
非常時の	⑮	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し周知、説明されているか	5	2		2		・いずれのマニュアルも完備しております。防犯上の理由の為掲示は控えております。それ以外は訓練室入り口に掲示しております。

対応	⑯	非常災害の発生に備え定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			1		・子ども達と定期的に避難訓練を実施しております。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	5	4			・短期の利用ですが毎日「楽しかった、最高！」と言って帰ってきます。	・個々の状況に適切に対応し、ご本人の様子をご家庭と共有し今後も安心してご利用していただけるように努めて参ります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	9				・子どもの支援だけでなく親にも寄り添って支援していただいております。心の支えです。	

※未記入の項目があり数が合わない箇所があります。

# 事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

smile+ WAKABA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		
	②	職員の配置数は適切である	○		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援している	○		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを	○		

	⑭	徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		
関係機関や保護者との連携	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	⑱	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしている			・現在受け入れ年齢を小学校6年生までとしております。今後必要がありましたら検討していきます。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	○		
保護者への説明責任	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者学習会、情報交換会を開催しました、今後も継続して行えるよう検討しています。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
	㉝	個人情報に十分注意している	○		

上 等	③⑤	個人情報は十分注意している	○		
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・必要に応じて検討していきたいと思います。
非 常 時 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			・食物アレルギーのお子さんは現在おりません。アレルギーのお子さんがいた場合は対応していきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		

※この事業所職員向けは自己評価表は事業所全体で行った自己評価です。